

■制作の授業・花と緑のデリバリー (1グループ)

さくらカルチャースクール、多摩桜祭に向けてクイリング制作をしている様子です。スイッチ操作を上手に行い、一つ一つ丁寧に作品を作り上げています！



■生活（1グループ）

生活の授業では、ベトナムについての勉強をしています。米粉でできたフォー作りに挑戦！

不思議な感触に少しびっくり！なかなかこねるのが大変でしたが楽しい雰囲気で作りました。



■支援機器の紹介（2グループ）

2グループの皆さんの活動を支えるために最もよく使われるのは、ステップバイステップという音声を録音してスイッチを押すと再生できる装置です。一般にこのような機器のことをVOCA（音声出力コミュニケーションエイド）といい、1980年代後半から支援の現場で使われています。挨拶、授業始め終わりの合図、司会、発表、スライド送りの合図、買い物・・・とあらゆる場面で利用できます。介助が必要な方は、どうしても他者に活動を進められてしまうという状況に置かれることが多いと思われませんが、VOCAを使うことで、生徒の皆さんが活動の主導権を握ることができます。



■家庭（3グループ）

肢体不自由教育部門高等部3グループは、家庭の時間に刺し子に取り組んでいます。生徒の実態に合わせて様々な補助具を使い、生徒たちは『自分たちの手で刺繍が出来上がっていく』様子を楽しんでいます。



■SAKURA Online EXPO準備開始！ (5グループ)



例年多摩桜祭として開かれている行事ですが、今年度は名称新たに「SAKURA Online EXPO（さくらオンラインエキスポ）」として開催されます。作品展示や各グループの活動の様子の動画等、全て学校関係者が閲覧できるようなオンラインでの発表になります。

動画と作品展示以外にも、今年度は物品販売もオンラインで行う予定です。I高、は3・4グループが職業の時間に作成しているアロマストーンやメダルを付けた木製のクリップ、校内実習の際にI高の全員で漉いた紙を4グループがカットし、それをケースに使ったメモ帳の販売を行います。



■産業社会（5グループ）

2学期からの産業社会の授業では、類型化選択に伴う授業を行ってきました。特に、大切なことは次の3項目を主体的に考え伝えていくことです。各自が進路選択を考え、見つめ直す機会となりました。

移動面…公共交通機関の利用

（路線バス、電車等）

仕事面…無理のない仕事内容と疲れにくい

姿勢の工夫改善

生活面…食事の準備、食具の工夫

排泄に関する身辺処理の工夫改善

